

「安全・安心のまちづくり」シラバス

教授 小出治,
特任教授 山田常圭
准教授 加藤孝明 (生産技術研究所)

□講義の目的

都市における安全・安心という課題は、守るべき基本要素とは理解していても、計画の根拠となる法令や事業制度などが未整備で、政策目標やまちづくり計画として具体化することが困難な現状にある。しかしながら、このような中でも、都市計画やまちづくりに携わる立場の人が、安全安心のまちづくりに関して最低限必要な基礎知識や認識を獲得すること、また、安全安心のまちづくりとして展開されている整備事業や先進事例などの具体例を学ぶことは、きわめて重要である。本講義を通じて、安全安心のまちづくりの素養を身につけ、今後の都市計画実務に役立ててもらうことを期待している。

□講義項目

1. 都市の防災とまちづくり I (加藤孝明) : 2010/12/7, 14, 21 (3回)
 - (1) 都市の変化と自然災害リスクの変化
 - (2) リスク・ハザード情報と都市計画・まちづくり
 - (3) 災害復興へのプランナーとしての備え
2. 都市の防災とまちづくり II (山田常圭) : 2011/1/11, 18 (2回)
 - (4) 都市防災の歴史と都市計画
 - (5) 都市のインフラ施設の防災対策手法、事例
3. 都市の防犯とまちづくり (小出治) : 2010/1/25, 2/1, 8 (3回)
 - (6) 犯罪の現状と犯罪論 (小出治)
 - (7) 海外・日本の防犯対策 (小出治)
 - (8) 防犯対策の今後の展望 (小出治)

□理解すべき事項

- ・ 防災 (安全・安心) と都市計画の関係を歴史から知る。
- ・ 首都直下地震対策にむけた防災まちづくり、インフラ施設の防災対策事例の工夫と教訓、
- ・ 災害復興における都市計画、まちづくりの課題。
- ・ 犯罪と都市及び防犯とまちづくりについて内外の都市の現状
- ・ 防犯とまちづくり都市計画は英語では「Planning」と動名詞で表記されるように、社会の様々な主体が関わって都市をよくしていくには、計画づくりを常に進行形にする枠組み (制度) をどうつくるかが重要

□成績評価

レポート提出とその評価に基づく